



ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木詰彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 88名 出席 60名 出席率 70.27% 前回出席率 70.27% 修正出席数 72名 確定出席率 86.49%

会長報告

高橋良士君

本日、午前11時30分より開催いたしました第3回定例理事会の御報告を申し上げます。

第3回 定例理事会報告

1. 特殊委員会の設置

① ライラ準備委員会

委員会メンバーを御承認いただきまして第1回準備委員会を9月26日に開催することと決定いたしました。

② 訪台準備委員会

本年度は台中港区ロータリークラブとの続盟式の年度となっておりますので明年2月に訪台の予定で準備をすすめておりますが、委員長に板垣広志さんをお願いいたしまして、早急に台中港区ロータリークラブとコンタクトをとり日付を決定したいと存じます。

2. 女性会員入会の件

本年4月、シンガポールのR I規定審議会で採択されました、女性会員入会につきましては

本年度第1回ガバナー会議での報告を勘案し、入会の賛否の会員アンケートを行い、理事会で最終決定することと致しました。

3. 新入会員、柏倉淳宏(かしわぐらあつひろ)君の所属委員会はS A Aといたしました。

4. 9月19日は青少年委員会主催のクラブフォーラムを行いますので、プログラム委員会、S A Aの皆様方も何卒よろしく御協力お願い申し上げます。

5. R I規定審議会で採択されました年2回の休会は先月のお盆休会と明年のゴールデンウィーク中を設定いたしました、5月1日(火)を休会と決定いたしました。

6. 会員の佐古田義明君が此度、仙台へ御栄転のため退会届を提出しておられましたが、理事会で退会を承認いたしました。

8月30日(水)午後5時30分より鶴岡・ニューブランズウィック友好協会の総会に出席して参りました。鶴岡ロータリークラブの会長は自動的にその年度の副会長に選出されていますが、この会発

ENJOY LIFE

戦友の集い

佐藤 忠

私の終戦日は、台湾の或る小学校(仮校舎)の校庭でした。翌21年2月復員、其の時頂いたガリ版刷りの住所録で文通が始まり、今では毎年7月に戦友会なるものが催されます。今年も7月8日に上山田温泉に集り、例によって三十数名の宴会が始まりました。19年の3月、当時の満州から沖縄・台湾と移った我々には、後続の初年兵は居りませんので勿論末席です。同年兵には、二十数万都市の議長さんも居りますが、

が、同様末席で雄弁を奮っておりました。楽しみは、宴終っての同年兵同志、同室での話題です。入隊当時の話で、訓練のことよりは、やはり食べることの話題です。激しい訓練後の食事が一番の楽しみだったようです。動作が鈍く要領が悪い者は、満身に食事(大豆入り)の出来なかった事、天ぷらをポケットに隠したのが見つかりピンタをくらった事等懐かしい話になります。今グルメ時代なんて勝手なことを言えます。いい世の中になりました。

エンジョイライフ

足以来会長として両市の友好のために大変御盡力下さいました、三井徹先生が此度勇退されまして、新穂光一郎さんが新会長に就任されました。鶴岡・ニューブランズウィック友好協会は鶴岡市の国際交流の中核となっておりますので、新穂会長の益々の御活躍を御期待申し上げる次第であります。

ジェクト交換。友情交換のすべて。情報抄録。国際大会直前直後のホームステイに関する必須事項。公式名簿注文カード。

ガバナー事務局

幹事報告

佐々木 詰彦 君

1. 来信・通知

- ① 8/30 会報・年次計画報告書到着
酒田R.C
- ② 8/30 1989～90ポリオプラス・テレホンカード 1,000円
申し込み 10月31日まで
日本ポリオプラス委員会
- ③ 8/30 89市民福祉のつどい「明日の地域を考えるボランティアフォーラム」
青年センター 9月7日
9:30～12:20
鶴岡市社会福祉協議会
- ④ 9/1 ロータリアン・ハンドブック
1,000円
第250地区 PG 秋永智徳氏
- ⑤ 9/1 会報到着 酒田東R.C
- ⑥ 9/1 RIニュース。世界社会奉仕プロ

⑦ 9/2 挨拶状

東北電力・三浦 勉氏

⑧ 9/4 劇団ふるさときゃらばん

ムラは3・3・7拍子公演案内

⑨ 9/4 業務開始挨拶状

ワコウ工業 若生恒吉氏

2. 例会変更

八幡R.C 9/6座禅例会の為場所変更

会場 「普門院」

点鐘 12:30

登録料 1,200円

酒田東R.C 9/14酒田R.C、30周年式典参加のため時間変更

点鐘 11:00

酒田中央R.C 9/8新人会員セミナーに振替

会場 「ホテルリッチ酒田」

点鐘 15:00

9/22(金)月見例会のため

会場 「相馬屋」

点鐘 19:00

登録料 6,000円

ゲストスピーチ

財団奨学生の心得

泉川由起さん



みなさんこんにちは、泉川由起と申します。私はロータリーの例会に出席するのは3回目です。1回目は、鶴岡市の姉妹都市であるニュ

ーブランズウィック市に親善使節国として訪問した時、NBのロータリークラブに。2回目は鶴岡西ロータリークラブで、ゲスト・スピーチを。そして3回目が今日なのですが、今日が一番緊張しています。

このたびは、鶴岡ロータリークラブに推薦して

いただき、財団奨学生の試験を受けました。皆さんには大変ご心配をおかけしましたが、なんとか財団奨学生候補になることができました。推薦して下さった市川さん、煩雑な手続きをひきうけて下さった松田さん、私を励まして下さった高橋先生、佐々木先生、新穂さんはじめ皆さんに、心から感謝しています。

8月27日福島でありました、財団奨学生オリエンテーションに塚原先生と一緒に行って参りました。そこでは、財団奨学生としての立場や、これからの手続きについてのお話がありました。志望校の入学案内は、早めにとりよせた方がいいということでしたので、私も志望する5つの大学に願書請求の手紙を出したところです。私は山形放送の報道制作に4年弱おりましたので、専攻はジャーナリズムです。志望する大学はどれもレベルが高

く、私の実力で入れるものかどうか、はなはだ疑問ですが、ご報告までに皆さんにお知らせしておきますと、

第1志望 ポストン大学 (アメリカ)

第2志望 ウィスコンシン大

マディソン校 (アメリカ)

第3志望 ライアーソン大学 (カナダ)

第4志望 カールトン大学 (カナダ)

第5志望 ランカスター大学 (イギリス)

です。みなさんの期待をうらぎらないように、トフルのスコアアップをめざして頑張りたいと思います。なお、蛇足ですが10月7・8日の年次大会では司会でお手伝いをいたしますので、よろしく願います。

このたびは本当にありがとうございました。

新会員スピーチ

「東北の電気通信とNTT」

奥野洋一君



今日は、少し私共のPRとすることになるかも知れませんが、「東北の電気通信とNTT」というテーマでお話させて頂きたいと思えます。それでは、お手元にお配りしている資料に従いましてご説明致します。

まず、電気通信市場の現状ですが、昭和61年にDDI (第二電電) とかJT (日本テレコム) と言ったいわゆるNCC (New Common Carrier) が相次いで市場に参入してきたわけですが、この結果東名阪の市場を例にとりますと、63年度には市外電話市場で7%、市外専用線市場では17%のシェアをNCCが占めるに到っています。市場参

入して僅か2年余りで、このようなシェアを占めるに到ったことは、例えばアメリカと比べるとその成長の速さは驚くべきものであります。

無線呼出の市場、これはいわゆるポケットベルのことでありますが、競合エリア全体におけるNCCのシェアは63年度で13%に上っています。

さて、それでは東北においてはどうか、といいますと、既にご案内のとおり、今年の5月からNCCが市外電話、市外専用線市場に参入しております。5月にはDDI、6月にはJTが主に東北新幹線沿いの太平洋側をエリアとしてサービスを始めていますが、一部山形県の内陸、秋田県の内陸もサービスエリアに入っています。市外電話市場におけるNCCのシェアは新聞報道によりますと、当面、回線数で10%程度になるものと予想されています。当庄内地域ではまだこれらのサービ

スは始まっていませんが、早晚開始されるものと思われれます。また、ポケットベルの分野では、すでにこの7月から競争市場になっていることは、ご案内のとおりであります。自動車電話についても既に新会社が設立されており、来年にはサービスが開始されるものと思われれます。

電気通信市場の現状についてお話ししましたが、更に有効な競争市場を整備するために、次のような取り組みを行っています。まず通信の自由化については公正な接続条件を確保するという観点から、NCCの要望に合わせID化を促進する事としています。なおID化とは、NTTの交換機に対して発進加入者番号（市外局番+市内局番+加入者番号）を送出する機能を付加することですが、POI（Point of Interface）設置区域（郡山、福島、仙台、盛岡等）については平成元年度早期に、POI隣接区域については平成元年度末までにID化を完了することにしています。ちなみにNCC網を利用した場合の接続形態は、発進加入者から発進側POIまではNTT回線、発進側POIから着信側POIまではNCC回線、着信側POIから着信加入者まではNTT回線を使用することになります。

次に、NTTが保有するネットワーク情報、サービス利用状況、技術情報、研究開発成果など各種情報をお客様のプランバナーに係わるものやNTTのセキュリティに係わるものを除き、社外の皆様に公開しております。

以上のように、東北地方においても、電気通信分野での競争状態はますます進んで参りますが、このような動きに対応するため、NTTにおいても様々の経営改善のための施策を実施してきております。本年4月からは、これまでの電報電話局という呼び方を改め、支店または営業所という名称に変更致しました。このほかにも次のような施策を行っています。

まず料金値下げですが、60年の民営化以降現在に到るまで6回にわたって実施して来ておりまして、その間の値下げ額の合計は2,000億円を上回っ

ています。また、近距離と遠距離の格差、いわゆる遠近格差も、最大1:72あったものが、現在では1:33まで改善されております。

また、現在経営の効率化を目指して業務の集約を行っております。例えば交換機を保守する部門は60年には83局あったものが、元年度末には28局になる予定です。ちなみに山形県ではどうかといいますと、13局から4局になる予定です。電報部門は現在は福島を除き、各県庁所在地支店に集約されていますが、これを今後どうするか現在検討中です。「104」などのオペレータ部門は62局から43局へ集約しております。山形の場合は8から5となっています。現在オペレータ部門はランダム方式を採っておりまして、例えば鶴岡のお客様が「104」に電話をして、鶴岡の回線が一杯の時は山形や酒田、米沢などに回っていく仕組みになっています。

このような業務集約を行いながら人員も減らしておりまして、59年度四部SP24,350名おりましたものが、63年度には四部SP21,000名となっています。当鶴岡支店でもこの間に50名減っておりまして、現在はおよそ260名となっています。この結果、当然のことながら、社員一人当りの受持電話加入数は増えております。

更にサービス業としてお客様の向上に努めることは当然の事です。NTTのお客様サービスは資料にあるような評価を受けていたわけですが、これを踏まえて、更にお客様の立場に立ったサービスの充実を図るべく、現在ベストサービスと称して、お客様の電話に速くでるとか、工事工程の短縮を図る、あるいは応接マナーの向上といったことに取り組んでおります。

次に、地域情報化、地域振興に対する取り組みについてです。体に例えると交通体系は血管系にあたるのに対し、情報通信は神経系にあたるのではないかと思います。現在国が進めている四全総では多極分散型の国土造りが指向されておりますが、このためには高度情報通信体系の整備が不可欠であります。東北地方においてもテレトピアや

ニューメディアコミュニティといったニューメディア関連の地域振興計画が進められています。NTTもこれらの事業に色々な面から協力しております。例えばテレトピアでは4つの第三セクター会社（仙台－パソコン通信、福島－キャプテン、米沢－CATV、秋田－キャプテン）に出資しています。また東北の国際的情報基地化を目指して、東北7県の産・学・官の連携のもとにすすめられている東北インテリジェントコスモス構想に対しても、資料にあるような会社への出資など積極的な協力を行っています。その他、テレマーケティング手法を使った各地の特産品の産地直送や少年野球教室、バレーボール教室の開催など地域おこしに努めています。

最後にNTTの経営形態のありかたについて簡単に述べさせていただきます。日本電信電話株式会社法の規定によると、来年の3月を目途にNTTのありかたについて必要な見直しが行われることになっています。これを受けて郵政省電気通信審議会が現在NTTの経営形態のありかた、特に分割

の問題が論議されており、この秋にも中間報告が出される予定です。この問題を考える場合に大切なことは、分割した場合のメリット、デメリットを比較してどういう形態がユーザーからみて最も都合がよいかという視点から判断すべきであるということです。そういう視点から見た場合、料金の問題、将来のデジタルサービスの全国展開、公共性の確保の問題、あるいは株式の問題などデメリットが多く、分割については慎重に論議されるべきと考えます。なお資料には、アメリカ、イギリスの場合が掲載されていますが、アメリカの場合はこれまでの電気通信事業の生い立ちの経緯が日本と大きくことなっているほか、AT&T分割の背景にも特別のものがありません。イギリスの場合は分割に伴う混乱、ロスを避ける、あるいは国際市場でアメリカ、イギリスに対抗していく観点からBTの分割はされておられません。

以上で私の新入会員スピーチを終わらせて頂きます。どうも有り難うございました。

会員スピーチ

庄内の釣りのルーツをたずねて

村上龍男君



全国的に見ても、まれにみる磯釣りの好きな庄内の人達は、誰言うことなく人から人へと口伝えに、庄内の釣のルーツをこう考えている。

長い戦国時代から、徳川の時代となり平和、大平の時代が続きそれにつれて、心身の鍛錬を怠る藩士を見て、庄内、酒井の殿様が、武芸百般の一つとして磯釣りを奨励し、自ら率先して行なったのが始まりであるとさ

れてきた。

しかし本当の所はどうだったのだろうか。本当に殿様の号令一声で始まったものだろうか？。又、言われている程250年も以前からの伝統があるのだろうか。疑問に思っていた事であるし、何か古い文献等が残っていないものだろうか常々心に掛っていた。

その疑問を、わずかながら伺い知る事の出来る文書を見る機会があったので御紹介したい。

昭和57年の温海町公報に、昔を訪ねてという欄がある。それに「殿様の御入湯と釣り」が3回に渡って紹介されている。

それによると、歴代の殿様が温海温泉に湯治に行っている。内容を良く見ると、湯治というよりは、物見遊山といったほうが良い。

殿様が女中や、奥方を連れ、釜谷坂や、岩崎の磯に遊びに行って、シンヂョ、油子、天口等を釣って喜んでいる。又手繰網でとった魚を「活けす」に入れ、ながめたり、はえ縄で、シンヂョ、油子等がとれる所をながめて喜んでいるし、鼠ヶ関の弁天様にお参りに行ったり、連日の如く遊び歩いている。

磯釣りも、そんな中から自然発生的に段々と藩士達に間に広まって行ったものと想像出来る。

歴代の殿様の中で延享2年の第七代酒井忠寄の御入湯の記録を御紹介すると、4月入湯予定の1ヶ月あまりも前から、度々前触れが行なわれ、諸準備や厳重な注意が達せられた。

1. 火の用心が第一、人数を増やす事。
 1. 御通の筋の村々はきれいに掃除し柴くね屋根のぐしの手入をする事。
 1. 乱気がましき人は、遠方の村へやっておく事。午馬や犬は放しておかない事。
 1. 御用人足の人柄を良く吟味する事。
 1. 堅苔沢村から、大岩川村までのうち御釣場を良く見ておく事。
 1. 御入湯の頃になると、タナゴの間入り最中と思われるから、村々追い網を拵えおき上手な者を用意しておく事。
 1. 御用の薪、馬の飼料大豆、糖は用意しておく事。
 1. 御入湯中は特別用のある者のほか湯村に来てはならない。
 1. 湯村の人は高声を出さない事。女子供迄、小うた等小声でも一切うたわぬ事。
- など細かい注意書きがある。

特に面白いのは釣り道具の用意を命ぜられた事であった。

1. 釣針150本、但しあぶらこ針、その割出しは、内75本は小波渡村から、同75本は堅苔沢村から、その内35本は小針。

1. 糸具、170本、長さ三尋から四尋まで。内85本は堅苔沢村。

1. 釣竿、70本、御相手釣竿、これは山浜京田組から出すことになっている。

ここで考えられるのは釣竿75本は「御相手釣竿」と書いてある所を見ると、お供の武士達のもので、殿様の分は前々から立派な釣り具が用意されてあるものと考えてよいと思う。

と公報に記されている。今から240数年前すでに、庄内ではある程度磯釣りがされており、いわゆる庄内竿と思われるものが使用され始めていたふしがある。

殿様だけが、立派な竿を持っていて、あとのお供、百数十名中、70本の釣竿を使った武士達は、他人の釣り具を使用する素人であったようなので、まだごく一部の人達の道楽程度の釣り熱と思われるのである。

そして殿様も4月18日、天気も良かったと見えて僅かなお供を連れて磯遊びにお出掛けになった。

釜谷坂磯の岩崎1、2ヶ所でお釣りになりそれよりも70郎村下の方岩崎にてお釣りになり、シンヂョ、油子、天口の類、物数5つもお釣りになり、大変お喜びになった、とある。

まるで、ずぶの素人釣り師が始めて釣った小魚に心から楽しんでいる風情が想像出来る。

この様に、殿様だけでなく、奥方の御入湯のこともあったが、同じように釣り具の用意が命ぜられている。

恐らくお供の藩士達が磯釣りを楽しんだものであろう。そして釣り具の準備を細かい所までなされるようになり、釣り場を前々よりお止め場として、何者なりとも殺生を禁じられたりしている。

殿様の御入湯と磯釣りの事は、沢山あってなかなか面白いが、嘉承三年、第11代忠発の場合をみると。

この時は釣り道具については、次のような前触れであった。「御釣道具は御持たせ相成り候事」で釣り具は持参することになった。

おそらく殿様はじめ家来の間に釣り熱が高まり、

各自が自慢の道具を持つようになった事を物語る
のであらうと広報にある。

事実その通りであらう、忠発公は記録によると
入湯中折さえあれば磯釣りをしている。

もし言い伝えが本当であるとすれば、第11代の
忠発公が、自らも磯釣りに熱中し、家来にも奨励
したのではないかと思われる。

この様に記録を見ると、伝統的には250年程前
に始まっていたものがあると思われるが、現在想
像されているような、武士達の釣り熱が高まった
のは意外と新しく、150年程前ということになるの
ではないかと想像している。

退会の挨拶

佐古田 義明 君



佐古田でございます。
この度、社命により仙
台に転勤する事となり
ました。昭和61年4月
1日より鶴岡ロータリー
クラブに入会させてい
ただき3年半お世話に
なりました。

クラブの活動に関しては何一つお手伝いが出来
なく大変申し分なく思っております。しかし入
社して20年余り、会社関係者との親睦はありまし
たが、当クラブの様に幅広い職業の方々と少しで
も親睦を深める事が出来た事は、私にとってすば
らしい3年半であったと思ひ非常に感謝しており
ます。皆様方の豊富な体験談等、酒席また例会時
を通し教えて頂いた事を今後の仕事の中に生かし
て行きたいと思ひます。今度の仕事は、物的流通
本部・第一物流運営課長として仙台に駐在し東北
全店をカバー致します。庄内を例にとりましても、
庄内空港開港、高速道路設置と物の流れに変化が
出ると思ひます。最後になりましたが、鶴岡ロー
タリークラブの益々の発展と皆様方の御健勝をお
祈り致しましてお別れの挨拶と致します。本当に
長い間ありがとうございました。

委員会報告

国際青少年交換委員会

荒井 宏明 君

9月2日(土)にアメリカ・カナダからの来日
学生を中心に、蔵王のホテル樹林で第1回オリエ
ンテーションを開催致しました。

来日以来まだ一週間しかたっていないにも拘わら
ず、持ち前の明るさとノリの軽さですっかり打ち
解け、深夜まで語り飲み食い楽しんで一夜を過ご
しました。

学校の文化祭で夜遅く到着した子があり、又翌
日学校の運動会があるという事で夜遅く車で帰っ
ていった子があり、それを支えてくれた保護者の
方々は大変ご苦労様でした。

アメリカ・カナダからの学生5名、オーストラ
リアからの学生3名、帰国学生8名、保護者、地
区委員15名計31名の出席を戴き無事オリエンテ
ーション・歓迎会を終了致しました事をご報告致し
ます。

出席委員会

年間皆出席

3年間皆出席 忠 鉢 徹 君

1年間皆出席 阿 部 貢 君

8月100%出席 54名

阿蘇、阿部(与)、藤川、奥野、秋野(昭)、石井、
石川(寿)、石黒、板垣(俊)、板垣(広)、市川、
飯野、毛呂、迎田、松田、皆川、村中、松永、
中江、中沢、笹原(桂)、佐藤(昇)、佐藤(忠)、
佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、新穂、荘司、
笹原(信)、矢口、庄司、鈴木(茂)、佐々木、
鈴木(肇)、斎藤(昭)、高橋(良)、丹下、高田、
塚原、忠鉢、碓永、若生、山口、吉野、日向、
来海、阿部(貢)、富田(利)、阿部(信)、秋元、
嶺岸、園部、村上、柏倉

9月会員誕生

上野三郎君 阿部 貢君
小池繁治君 加藤 賢君
柏倉淳宏君

奥様誕生

三井 糸様 三井 順子様
忠鉢 泰子様

スマイル

佐藤友吉君 押切小学校校舎改築工事 同校
屋内運動場改築工事 同校水泳
プール建設及び屋外教育環境整
備(外溝2工区)工事竣工して

秋本順雄君 北海道で行われました国体夏期
大会で、佐藤元伸さんの長男佐
藤伸春君が400m個人メドレー
で6位に入賞されましたので。

新穂光一郎君 三井徹ニュー・ブランズウィッ
ク友好協会会長が高齢と健康上
の理由で辞任なされ、その後任
に推挙されました。
尚、三井先生は顧問として、我
々にアドバイス戴ける事になっ
ております。

阿部与十郎君 従業員寮から出火大変ご心配を
かけました。

現在湯野浜の防災関係はコンピ
ューターを使った立派な設備が
出来ており、火災報知器も常備
消防に連絡になって存在が分か
るようになっており、今回も非
常に助かりました。

奥野洋一君 9/1の防災の日に、山形県総
合防災訓練が実施され電気通信
訓練に参加無事終了しました。
いま鶴岡市体育館で開催されて
いる白甕社美術展にNTTアー

ト賞で参加

藤川享胤君 今週末から6週間アメリカに参
ります。寂しいでしょうが、10
月の末まで。

アーレンが今日から羽黒高校の
修学旅行で参りました。私の所
から今度交換オーストリアに行
っている斎藤さゆりの宅にホー
ムステイして帰ります。色々と
心を配って戴いた方に感謝して。

村上龍男君 仕事で1カ月半ぶりが出てきま
した。

磯釣り大会(10/1)を世話す
ることになりました。大勢参加
して下さい。

三浦恒棋君 ただ今鶴岡市体育館にて白甕社
第114回美術展が開催されてお
ります。皆さんお揃でおいで下
さい。

この度石井さんが見事「ホルベ
イン賞」を受賞されました。

石井敬三君 「ホルベイン賞」あまり自慢出
来る賞ではないが受賞したので。

ビジター

小川 清君(山形南R.C)

渡部 晃雄君(温海R.C)

上野 朝重君(鶴岡東R.C)



カット 三浦恒棋君

19日(火)のプログラム予定

クラブフォーラム 青少年奉仕委員会